
宇宙の中心で僕は輝く

N澤巧 T 郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

宇宙の中心で僕は輝く

【Nコード】

N2440A

【作者名】

N澤巧T郎

【あらすじ】

暑い夏の夜、私は山奥の山村に一人旅をしに来ている。

暑い夏の夜。

私は山奥の村に一人旅をしに来ている。

空にはラムネのビー玉を散りばめたみたいに光る星達が。
耳を澄ませば川のせせらぎ。

森の賑わい。

虫達のハーモニ―。

ガサガサッ！！

そうそう、この近くは熊がよく出没するって言ってたっけ。
ガサガサッ！！

・・・ヤバイ・・・食われる・・・。

ガサガサッ

バツ！！

「ワッ！？びびったッ！？おばさんか。熊か思ったけ。」

出てきたのはこの村に住む子供だった。

「ああ、良かった。・・・って、おばさんじゃないよ。お姉さんだから。」

「・・・こんな夜に何しとん？熊おばさん。」

「人の話なんにも聞いてないでしょあんた。それはこっちのセリフ。
何してるのこんな夜に山から現れるなんて。」

「そっぴや、明日帰るんしょ？」

「ちゃんと質問に答えてよ・・・。そうよ、明日帰るけど。それが？」

「いいもん見しちゃるけ。ついてき。」

「はあ？まったく自分勝手なんだから。ちょっとボク？待ちなさい。」

ガサガサ

「ほら、熊おばさん。はようせんと終わっちゃうき。はようはよう。」

「

「ぜえ．．．ぜえ．．．。お．．．お．．．おばさん言っなあゝ！

！！」

ガサガサ

「ほら、着いたぜ。」

「ぜえ．．．ぜえ．．．。着いた．．．？ああ．．．。．．．

おお！？ホタル！！」

そこには数えることが嫌になるくらいホタルが一齐に光っていた。私はその風景に言葉が出なかった。

「おばさん。」

「ん！？まだ言うか！？」

「あれはホタルちゃう。星や。」

「え？」

そういうと子供はそのホタルの一群の中心に駆け出した。そして、両手を高々と天に突き上げ叫んだ。

「宇宙だ！！！！！！」

ホタルと夜空に輝く星達の境目がわからない。

確かに彼は宇宙の中にいる。

そして、宇宙の中心で、どの星よりも強く輝いている。

「昨日はありがとね。」

「帰っても熊と間違われんようにしいや。」

「誰がされるかつ。」

バスに乗り込む。

「今度きたときも宇宙を見せてね。」

「まかせとき。宇宙は俺が守るっちゃ。」

「安心した。」

バスが発車する。

「じゃあねえ!!」

私は彼が見えなくなるまで手を振り続けた。

彼も私が見えなくなるまで手を振り続けた。

彼が見えなくなっても、私の中の宇宙の中心で、彼は輝き続ける。

どの星よりも強く。

どの星よりも優しく。

E n d

(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2440a/>

宇宙の中心で僕は輝く

2010年12月13日18時04分発行